

ひとつひとつ

『形』に

大型プロジェクトを着実に推進しながら
市民との協働で『元気な伊万里市』づくり

平成21年第1回定例会市議会（3月議会）で、塚部市長が平成21年度の市政運営についての所信表明を行いました。ここでは、その一部を紹介します。

平成21年 第1回定例会 所信表明

はじめに

私は、平成14年4月に、市民の皆様の負託を受け、市長

に就任して以来、市民と同じ目線に立った考え方と前例にとらわれない新たな発想、そして何よりも情熱を持って、



伊万里市長
塚部 芳和

市民本位の市政運営に邁進してきました。

また、2期目にあたりましては、元気な伊万里市づくりを中心に据えた政策実行計画（マニフェスト）を定め、市政の各分野において、鋭意、施策の展開に取り組んでおり、平成21年度は、その総仕上げとなる4年目を迎えることとなります。

私は、伊万里市の市制施行55周年と重なり合うこの年が、市民の皆様の安心と真の豊かさを創造するための礎となるよう、市民との協働による市政運営に全力を傾注していきます。

時代潮流と社会情勢

100年に一度と言われる世界的な金融危機に伴い、我が国においても、輸出の激減に加え国内需要の急速な縮小により、景気は大きく悪化しており、国内主要企業の業績が落ち込むとともに、雇用不安が広がりをみせるなど、その影響は、私たちの暮らしにまでも、大きなうねりとなって押し寄せています。

私は、今回の経済危機に直面し、昨年末には、県内でもいち早く、雇用に関する緊

急相談窓口を開設するとともに、市の臨時職員へ優先的に雇用するなど、失業者への支援策を講じたところです。

国においては、景気対策、財政再建、改革による経済成長の3段階での経済財政政策が進められ、「安心実現のための緊急総合対策」と「生活対策」に加え、「生活防衛のための緊急対策」が示されたところであり、本市においても、国の経済対策の積極的な活用により、市民生活の安定に取り組んでいく覚悟です。

行財政運営方針

国の三位一体改革による地方交付税の大幅削減に加え、法人市民税など自主財源が落ち込む中で、安定した行政サービスを提供していくためには、事業の選択と集中により、歳入の規模に応じ歳出を抑制しなければなりません。

今日の未曾有の経済危機により厳しい状況にある本市の財政を健全なものとし、将来の発展につなげていくことが私の責務であり、市民の皆様とともに、市民力と地域力を結集し、安心と活力を実感できる伊万里市づくりに取り組んでいきます。

市民の願いを

5つの元気づくり政策を実現するための市政改革

●第5次総合計画策定事業 378万円

市政全般の方向性を示す重要な計画である『第5次総合計画』の基本構想、基本計画を策定します

財源 市 378万円 ▶企画政策課

●21世紀市民ゆめづくり計画支援事業 152万円

市民と行政との協働による新しい伊万里、楽しい夢のあるまちづくりを実現するため、市民のゆめづくり計画の支援を行います

財源 財産収入 43万円 市 109万円
▶男女協働・まちづくり課

●地域の元気推進事業 709万円

市民と行政との協働により、元気なまちづくりに取り組む地域を支援し、地域の自主・自立によるまちづくりを推進します

財源 繰入金 695万円 市 14万円
▶男女協働・まちづくり課

●観光振興プラン策定事業(新) 24万円

多種多様化する観光客のニーズに対応するため、行政、民間、専門家などからなる策定委員会により、観光振興プランを策定します

財源 市 24万円 ▶商工観光課

- 井手口川ダム
- 伊万里港水深13m岸壁
- 国道498号大坪バイパス
- 西九州自動車道
- 広域ごみ処理施設
- 新統合病院
- 第4工業用水道

その姿が見えてきた!



大型プロジェクトの推進

平成21年度は、本市の将来の発展を見据え取り組んできた大型プロジェクトが、私たちの前に『形』となり、その姿を現す年になるものと確信

しています。

中でも、市政始まって以来の大型事業である第4工業用水道は、最終的な仕上げに向け、当初の計画どおり着実に事業を推進していきます。

また、地域の中核的病院として整備を進めている新統合病院は、建設用地の造成工事の段階を迎え、広域ごみ処理施設は、敷地造成の基本設計および施設整備に係る基本計画の策定に取り組むなど、施設の整備に向け大きく動き出すこととなります。

さらに、福岡都市圏との時間距離を飛躍的に短縮する西九州自動車道は、昨年12月に本市における着工式を行い、現在、南波多町と山代町で橋梁の建設工事などに取り組みされており、平成22年度の完成を目指す国道498号大坪バイパスについても順調に事業の進捗が図られています。

伊万里港では、大型化するコンテナ船への対応として、水深13m岸壁の整備が進められており、成長著しいアジア諸国との貿易を中心に、国際物流港としてのさらなる発展

が期待されます。

井手口川ダムは、ダム本体のコンクリート打設が開始されたところであり、地元関係団体などと一体となって地域振興のための周辺整備計画の策定に取り組みます。

このように、それぞれに重要な時期を迎えている大型プロジェクトについて、関係機関などとの緊密な連携のもと、事業の着実な推進を図っていきます。

元気づくり政策の実現へ

少子高齢化や防災、防犯への対応など、地域の課題は多様化していることから、市民の行政需要に的確に対応していくため、地域分権の新しいまちづくりとして、地域の元気づくりに市内7地区において取り組んでいます。

平成21年度は、実施地区の拡大を図るとともに、活動への支援を行うほか、特色ある表彰制度を新たに創設するなど、市民との協働によるまちづくりの推進に努めています。

次ページからは、マニフェストに掲げた『5つの元気なまちづくり』の基本方針に基づいて取り組む主な施策と予算について説明します。